

徳地森の子くらぶ ～ポン太の森で秋を楽しもう～

平成30年11月10日（土）～11日（日）

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】 50名（小学校3・4年生）、法人ボランティア14名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:00 始まりの会
- 11:30 みんなであそぼう！（アイスブレイク）
- 12:15 お弁当タイム
- 13:30 ポン太の森の冒険隊（ネイチャービンゴ）
- 19:00 ナイトウォーク

2日目

- 9:15 アウトドアクッキング（焼きそば）
- 13:20 さよならの会
- 14:00 バス乗車/終了

「始まりの会」

「みんなで遊ぼう！（アイスブレイク）」



今回の秋口に開催となった森の子くらぶには、80名近くの申込みがあった。キャンプには、50名の小学3・4年生が参加した。アクティビティの中で、グループで自己紹介を行ったり、お互いに話しあったりした。この活動を通して、児童間やボランティアとの間にあった緊張がほぐれていた様子であった。

「ポン太の森の冒険隊（ネイチャービンゴ）」

「大丈夫」、「ありがとう」、「一緒にやろう」などのふわふわ言葉が使われる場面がたくさん見られた。

クラフト活動においても自然物の特徴を使い、想像力豊かに作成する姿を見られた。

グループの仲間と一生懸命活動して、すべてのグループがミッションクリアへ向かった。



「ナイトウォーク」

暗くなった森の中を、マウンテンバイク場まで足元に気をつけながら歩いて行った。マウンテンバイク場では全員で明かりを消して、数分間星空を眺めた。暗い中怖がる児童もいたが、ポン太の森の冒険隊のふわふわことばとして使った「大丈夫？」という言葉に勇気づけられことで歩くことができた児童がいた。また、星空を見たとき、「すごい」「きれい」等の感想を聞くことができた。

「アウトドアクッキング（焼きそば）」



アウトドアクッキングではグループで「焼きそば」を作った。1日目に決めた班目標を達成するために、ふわふわことばを意識して使う班の姿を見ることができた。

前日に薪係、食器係と役割を決めて、その役割に沿って活動を進めた。は与えられた役割を、一生懸命果たそうとする児童の姿が見られた。

また、仲間が困難な状況にあるとき、自分の役割だけではなく、仲間の事を考えて、お互いに声を掛け合い協力する姿が見られた。

そのため、設定していた時間よりも早く終えることができた。

【参加者の声】

「みんなで協力して、学ぶことが楽しかった」、「新しい友達ができて別れるのはさびしいけど、たくさんの思い出ができてうれしかった。」、「いろいろな森に隠れているなどを見つけてそれを解きたい。」「恥ずかしがらず、いろんなことを頑張りたい。」などの感想をいただいた。

【成果】

今回の森の子くらぶでは、最初、円滑にグループで活動を行うことが困難な班が見られた。しかし、「ポン太の森の冒険隊（ネイチャービンゴ）」や「ナイトウォーク」の活動を通して、「アウトドアクッキング」では協力して活動に取り組めた班が多く見られた。また、「ネイチャービンゴ」と「ナイトウォーク」で昼の森と夜の森の違いを感じさせることができた。後日、保護者の方から家庭に帰った後もお手伝いができるようになったという言葉を受けた。

【課題】

安全管理が不十分であった。「アウトドアクッキング」が終わったグループ毎に外遊びを行った。その外遊びの時にケガの事案が発生した。また、薬の把握できていない部分があった。